



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年1月31日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
 コード番号 2204 URL <https://www.nakamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 鈴木 克司 (TEL) 03-5325-2711
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の業績 (2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	22,990	5.6	△995	—	△741	—	△401	—
2021年3月期第3四半期	21,763	—	△1,860	—	△1,690	—	△1,139	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期第3四半期	△67.28		—					
2021年3月期第3四半期	△191.10		—					

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	45,573	25,375	55.7
2021年3月期	42,356	26,017	61.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 25,375百万円 2021年3月期 26,017百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,900	—	20	—	160	—	230	—	38.58

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	5,976,205株	2021年3月期	5,976,205株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2022年3月期3Q	15,499株	2021年3月期	15,374株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期3Q	5,960,769株	2021年3月期3Q	5,961,182株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置全面解除で、段階的な日常生活の緩和となり、一旦は景気後退に歯止めをかけたものの、オミクロン株による新たな新型コロナウイルス感染症拡大、原油価格上昇、原材料価格高騰から再び景気の減速局面に転じました。

このような厳しい環境の中で、当社は創業120周年を迎え、『変わらない「おいしい」を、いつもあたらしく。』をブランドステートメントとして公表し、新型コロナウイルス感染症拡大による消費行動の変化に対応した営業活動を行ってきた結果、当第3四半期売上高は、22,989,508千円 前年同期に対し1,226,268千円、5.6%の増収となりました。

利益面におきましては、売上増収に加え、消費行動の変化に集中し効率的な営業活動ができたことから、営業損失は995,036千円 前年同期に対し864,586千円の増益、経常損失は741,486千円 前年同期に対し948,371千円の増益、四半期純損失は401,053千円 前年同期に対し738,151千円の増益となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期累計期間及び前事業年度との比較・分析を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、機械及び装置の減少242,752千円、リース資産の減少187,662千円等がありました。売掛金の増加2,915,874千円、関係会社株式の増加405,035千円等により、前事業年度末に比べ3,217,084千円増加し、45,573,260千円となりました。

負債は、退職給付引当金の減少321,627千円等がありました。短期借入金の増加2,600,000千円、買掛金の増加938,514千円、未払金の増加564,849千円等により、前事業年度末に比べ3,859,334千円増加し、20,198,336千円となりました。

純資産は、四半期純損失401,053千円、剰余金の配当額298,042千円による利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ642,250千円減少し、25,374,924千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の業績予測につきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,146,167	1,168,122
受取手形	2,693	—
売掛金	3,686,772	6,602,646
商品及び製品	1,303,111	1,783,323
仕掛品	35,107	50,668
原材料及び貯蔵品	1,251,635	1,380,822
その他	496,667	507,600
貸倒引当金	△465	△817
流動資産合計	7,921,687	11,492,364
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,909,161	8,778,508
構築物（純額）	621,922	590,974
機械及び装置（純額）	3,286,803	3,044,051
車両運搬具（純額）	186	116
工具、器具及び備品（純額）	324,840	334,810
土地	13,133,492	13,132,490
リース資産（純額）	2,188,713	2,001,051
建設仮勘定	14,243	31,363
有形固定資産合計	28,479,360	27,913,363
無形固定資産		
その他	213,690	219,185
無形固定資産合計	213,690	219,185
投資その他の資産		
投資有価証券	4,954,912	4,815,028
関係会社株式	131,021	536,056
その他	657,137	598,895
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	5,741,439	5,948,348
固定資産合計	34,434,489	34,080,896
資産合計	42,356,176	45,573,260

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,121,033	2,059,547
短期借入金	5,700,000	8,300,000
リース債務	108,849	116,025
未払金	1,118,154	1,683,002
未払費用	428,746	673,987
未払法人税等	—	55,293
賞与引当金	511,628	265,000
その他	167,627	288,704
流動負債合計	9,156,038	13,441,558
固定負債		
リース債務	607,282	565,707
繰延税金負債	2,601,680	2,460,638
退職給付引当金	3,298,624	2,976,997
資産除去債務	178,009	261,227
受入保証金	486,818	486,750
役員退職慰労未払金	10,551	5,460
固定負債合計	7,182,964	6,756,778
負債合計	16,339,002	20,198,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,481,558	6,481,558
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,170,223	8,170,223
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,415,329	3,359,726
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	449,580	△193,912
利益剰余金合計	9,069,841	8,370,746
自己株式	△65,904	△66,373
株主資本合計	24,643,562	23,943,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,373,612	1,430,926
評価・換算差額等合計	1,373,612	1,430,926
純資産合計	26,017,174	25,374,924
負債純資産合計	42,356,176	45,573,260

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	21,763,240	22,989,508
売上原価	14,881,475	15,134,203
売上総利益	6,881,765	7,855,305
販売費及び一般管理費		
販売費	7,188,144	7,219,942
一般管理費	1,553,242	1,630,398
販売費及び一般管理費合計	8,741,386	8,850,341
営業損失(△)	△1,859,621	△995,036
営業外収益		
受取配当金	67,341	67,969
助成金収入	107,224	188,066
その他	26,109	28,404
営業外収益合計	200,674	284,439
営業外費用		
支払利息	25,996	27,601
その他	4,915	3,289
営業外費用合計	30,911	30,890
経常損失(△)	△1,689,858	△741,486
特別利益		
固定資産売却益	—	3,788
投資有価証券売却益	46,895	218,171
固定資産受贈益	—	85,636
特別利益合計	46,895	307,595
特別損失		
固定資産売却損	—	2,423
固定資産除却損	6,610	3,852
減損損失	—	290
本社移転費用	—	73,188
特別損失合計	6,610	79,753
税引前四半期純損失(△)	△1,649,572	△513,645
法人税、住民税及び事業税	24,511	24,449
法人税等調整額	△534,879	△137,041
法人税等合計	△510,368	△112,592
四半期純損失(△)	△1,139,204	△401,053

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました協賛金等の一部を、売上高から控除しております。また、有償支給取引において、従来は有償支給した原材料等について消滅を認識しておりましたが、当該取引において買い戻す義務を負っていることから、有償支給した原材料等について消滅を認識しないことといたしました。なお、当該取引において支給品の譲渡に係る収益は認識しておりません。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。ただし、収益認識会計基準第85項に定める以下の方法を適用しております。

- (1) 前事業年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約について、比較情報を遡及的に修正しないこと

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の売上高が737,632千円減少し、販売費及び一般管理費は737,632千円減少いたしました。営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失に変更はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	15,601,103	5,803,293	358,844	21,763,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,601,103	5,803,293	358,844	21,763,240
セグメント利益又は損失(△)	△615,029	209,506	99,144	△306,379

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△306,379
全社費用(注)	△1,553,242
四半期損益計算書の営業損失(△)	△1,859,621

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又は サービス	16,259,331	6,358,665	—	22,617,996
一定の期間にわたり移転される 財又はサービス	—	—	371,512	371,512
顧客との契約から生じる収益	16,259,331	6,358,665	371,512	22,989,508
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,259,331	6,358,665	371,512	22,989,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	16,259,331	6,358,665	371,512	22,989,508
セグメント利益	214,683	316,546	104,133	635,363

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	635,363
全社費用(注)	△1,630,398
四半期損益計算書の営業損失(△)	△995,036

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「菓子事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において290千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。